

あさる

♪ VOICE OF THE FOREST



教えてください、あなたの読書スタイル



- P.1-2 新館長、新分館長をご紹介します&先生たちの読書スタイル
- P.3-4 高知大生に聞いてみた! 読書や図書館との関わり方
- P.5 臨床サポートツール DynaMedのご紹介
- P.6 ご存じですか、国立国会デジタルコレクション / 「UNEP 地球環境情報展」開催中
- P.7 めでいもりInformation



今年度、図書館では、館長・医学部分館長・物部分館長に、それぞれ新しい先生方が就任されました。そこで、先生方に自己紹介も兼ねてご自身の読書法や本にまつわる思い出、学生の姿、先生は読書とどんな関わりをされてきたのでしょうか…??

新館長、新分館長をご紹介します & 先生たちの読書スタイル

遠藤館長よりご挨拶

高知大学
学術情報基盤図書館
館長
遠藤 隆俊 先生
(教育学部)



みなさん、こんにちは。今年の4月から図書館長に就任した、遠藤隆俊と申します。普段は教育学部で歴史学(東洋史)や教材開発の授業を担当しています。専門が歴史なので、図書館はいつも利用しています。今後は利用者としてだけでなく、管理運営者として図書館に関わることになりました。みなさんのご要望に応えられる図書館にしたいと思いますので、いろいろなアイデアをいただければ幸いです。

高知大学図書館には「小島文庫(おじまぶんこ)」という東洋学の貴重なコレクションがあり、私も研究でよく利用しています。小島文庫とは高知県春野町出身で京都大学の教授、文学部長、人文科学研究所初代所長を務めた小島祐馬(おじますけま)の蔵書コレクションです。ここには漢籍(漢文の書籍)だけでなく、フランスにおける東洋学の文献なども数多く収められ、貴重な学術資料として知られています。今後は、こうした貴重資料のデジタル化やその公開にも取り組むことができると考えています。

また小島文庫には、京大の卒業生が清書した小島先生の講義録も残されています。小島先生は中国思想史の研究者であり、大学の講義では原稿を読み上げ、それを学生が書き写すという授業をしていたようです。私も学生時代にそのようなスタイルの授業を受けたことがあります。古くて面白くない授業だなと思った記憶があります。しかし、これはいま行われているmoodleの授業に近いもので、今日のデジタル改革にも温故知新の考えが通底しているのかなと思いました。

近年、大学生の図書離れ、図書館離れが言われ、とくにコロナ禍においては図書館の利用者が激減しました。しかし、一方で電子書籍や電子ジャーナルが広く普及し、みなさんの志向も紙ベースからデジタルベースへと移行しています。図書館としてはこうしたニーズに合った運営に努め、より利便性のある、そして親しみやすい図書館にできればと考えています。多くのご意見をお寄せいただくとともに、ぜひ図書館にも足を運んでみてください。

A1.

●1960年、福島県生まれ。東北大学を卒業後、1997年に高知大学に赴任しました。高知は今年で25年目になります。専門は東洋史学。中国における家族の歴史や中国と日本の交流史、また高知県に現存する漢籍の研究をしています。日本は東アジアの漢字文化圏にあり、その源流となる中国の歴史や日本との交流に興味があります。

A2.

●小中学校時代は歴史マンガを読みふけり、高校では近代の詩集や小説、それと受験勉強を兼ねて古典文学をよく読みました。詩集は島崎藤村や萩原朔太郎、小説は森鷗外や夏目漱石、芥川龍之介、中島敦など、古典は土佐日記、枕草子、徒然草、方丈記、奥の細道などです。列車通学だったので、車内で文庫本を読んでいます。
●大学に入学してからは文学を離れ、歴史の専門に関する論文や研究書ばかりを読むようになりました。今もそうです。
●読書のこだわりはとくにないのですが、専門書や論文を読む時には、必ず先に序文と結論を読みます。そのあと本文を読むかどうかを決め、読むとしたらどこに重点を置いて読めば良いかを考えながら読み進めています。

A3.

●高知大のみなさんに薦められるほどの読書体験はありません。自分が興味を持った書物を、好きなように読んで良いと思います。私の場合は、歴史マンガや近代小説、古典文学が、自分の心の糧になりました。
●専門分野では、増淵龍夫『歴史家の同時代史的考察について』(岩波書店)が、深く印象に残っています。歴史を研究するには、その対象を外部の基準で計るのではなく、対象の内側に入って、内面から理解しないといけないと筆者は述べています。大学院生の時に読んだのですが、これは歴史の研究だけでなく人間社会全般に通じる考えだと思いました。みなさんもそのような書物に出合えることを期待しています。



近日中に中央館に配架予定

任されました。みなさんへのおすすめ本を教えてくださいました。



A1.

●私は高知医科大学(現高知大学医学部)の第2期生卒業です。内科医として研鑽を重ね、現在は医科ウイルス学・腫瘍学を専門としています。ヒトがん全体のおよそ15%はウイルス感染が原因となっていることはご存じでしょうか?それらウイルスによるがん化メカニズムについて研究をしています。



医学部分館長
大畑 雅典 先生
(医学部)

A2.

●最近ではほとんど「本」を読まなくなりました。医師・研究者になってからは、診療・研究に必要な情報収集のため必然的に医学誌を読むことに時間が割かれるようになりました。
●昨今のコロナ禍においてウイルスがこれまで以上に注目されるようになりました。2009年にも新型インフルエンザが世界を震撼させました。ちょうどこの年に基礎医学講座に異動したこともあり、東京大学医科学研究所の河岡義裕教授らの『闘う!ウイルス・バスターズ 最先端医学からの挑戦』が印象に残っています。21世紀最初のパンデミックにウイルス学者がどう立ち向かったのがエッセイ風に綴られています。人類が新型コロナウイルス(SARS-CoV-2)と格闘している今の時代に改めて読むとウイルスに携わる人々のことがよくわかる一冊です。
●人類は今後も新たな感染症の脅威にさらされることが予想されています。目に見えない病原体と対峙していかなければいけません。はるか遠い昔に読んだAntoine de Saint-Exupéryの名作『The Little Prince』の中に出てくる「What is essential is invisible to the eye(大切なことは目に見えない)」という言葉は感染症学研究の原点になると考えています。



所蔵館：医学部分館

A3.

●自分自身が興味のある分野の本をお読みください。将来、医師や研究者を目指すのであれば、早くから英文に慣れ親しんでおくことをお勧めします。最先端医学の情報は海外で発行される学術誌から最初にやってきます。例えば新型コロナウイルス感染症(COVID-19)に関する最新のエビデンスはNature、Science、Lancet、NEJM、BMJといった一流の学術誌から得ることができます。幸いにも本学は医学系の電子ジャーナルも充実しており、学ぶ機会に恵まれています。まずは抄録だけでも読むことにトライしてみてください。

A1.

●農林海洋学部 農芸化学科の上野です。専門は植物栄養学で、特に植物の重金属栄養に着目した研究を行っています。重金属と聞くと有害なもの連想するかもしれませんが、その一部は動植物の生育に欠かすことのできない微量要素です。研究では、植物が進化の過程で身に付けてきた、体内の重金属濃度を適切に保つ術をひも解きます。

A2.

●植物栄養学の権威である故Horst Marschner教授の著書『Marschner's Mineral Nutrition of Higher Plants』は、学生時代から傍らに置き、事あるごとに手に取り勉強しています。この本は改訂の度に新たな知見が盛り込まれ、今年の11月に4th Editionが発売予定です。現代社会はSNS等を通じて求めている情報に簡単にアクセスできます。一方で、個人が発信する情報には特に再現性が求められることもなく、科学的根拠が薄弱であったり、疑似科学に基づいていたりするものが多く存在します。そんな今だからこそ、査読を経て公表された原著論文などの信頼できる情報に、書籍を介してあたることの重要性を改めて認識しています。

A3.

●『BORN TO RUN 走るために生まれた —ウルトラランナーVS人類最強の“走る民族”』(クリストファー・マクドゥーガル著、NHK出版)です。この本はウルトラランナーとメキシコのタウラマラ族との競争(長距離走)を通じて、人間が走ることを意味を科学的根拠に基づいて解説しています。この本を読むと、ランニングやジョギングが健康維持やダイエットのための辛いエクササイズではなく、本能的な欲求を満たす快楽につながる行為であることを知ります。読んだ後はすぐに走りたくなり、その後の人生において生活習慣病は無縁のものとなることでしょう。



所蔵館：物部分館

物部分館長
上野 大勢 先生
(農林海洋学部)



あさか

人文社会科学部 1年
A1.合間時間に読むなら『芸術新潮』コラムなど少しの時間で満足度の高い様々な分野のことが載っている
A2.授業の合間に過ごす。食堂が開くまでの待ち時間
A3.羽生選手プロ転向おめでとう



A1.イケメンを拝みたいなら『Myojo』
かっこいいジャニーズだらけ!
A2.試験勉強
A3.日商簿記1級を卒業するまでに取ります!

O・M

人文社会科学部 2年



A1.泣きたい気分なら『余命10年』
A2.試験勉強
A3.日商簿記2級取得、がんばります!

K・M

人文社会科学部 2年

かなで

理工学部 1年
A1.生物の勉強するなら『大森徹の最強講義117講 生物』
A2.勉強、レポート作成の時の調べ物
A3.(図書館は)とても使いやすい。しゃべってもいいところがあるから使いやすい。テスト勉強にうってつけの場所だと思う



M・H

理工学部 1年
A1.私がおすすめる小説は『どこよりも遠い場所にいる君へ』です。実写化の映画になってほしいです
A2.テスト勉強や課題をする時、利用している
A3.今年の11月に防災士の資格をとれるように頑張りたい

N.M.

医学部 4年
A1.寝る前に読むなら『うさぎパン』
A2.勉強で使ってます
A3.エッセイが好きです(^ ^)



K.D.

医学部 3年
A1.英語で医学を勉強するなら『Murtagh's General Practice』
A2.勉強に集中したい時、仕事したい時
A3.やりたいことをやりたい時にする!



さてさて、高知大生はどんなふうに読書をして、どんな時に図書館を利用しているの? 学生みなさんにも読書スタイルを教えてくださいましたよ。

えみ

理工学部 1年

A1.私が今オススメするなら『腹を割ったら血が出るだけ』
A2.課題や試験勉強をするのに利用しています
A3.課題のない夏休みを楽しみます!

K.Y.

医学部 2年

A1.おすすめるなら『錆びた太陽』
A2.勉強
A3.読書最高!



高知大生に聞いてみた! 読書や図書館との関わり方

妃雁

農林海洋科学部 修士1年
A1.雨の日にコーヒー片手に読むなら『功名が辻』
A2.課題に追われているとき
A3.今年こそは学生生活をバラ色にします...!



- 中央館
- 医学部分館
- 物部分館

学生みなさんに(2022年8月インタビュー実施)も読書スタイルを聞いてみました!

Q1. 僕・私が〇〇するなら『□□(本のタイトル)』!
Q2. 普段どんなふうにお薦めの図書館の使い方があれば教えてください!
Q3. 僕・私からひとこと!

M.N.

農林海洋科学部 4年
A1.移動中に読むなら『忘却探偵シリーズ』
A2.レポートや調べもの等集中したいときに利用しています
A3.企画展示などが開かれていることもあるのでぜひ図書館に足を運んでみてください!



くま

農林海洋科学部 2年
A1.世界にどっぷり入り込むなら『ハリーポッター』シリーズ!
A2.勉強のために使っています
A3.夏休み楽しみです



プリン

農林海洋科学部 2年
A1.旅行のお供にもっていくなら『るるぶ』シリーズ
A2.勉強のために利用しています
A3.やっと夏休み! 帰省するぞー!



S.M

農林海洋科学部 3年

A1.私が目標を持って頑張りたいなら『夢をかえなすゾウ』
A2.勉強をする時によく利用しています
A3.図書館でいっぱい本を読みたい



A.N

農林海洋科学部 3年

A1.一人の世界に浸るなら『世界から猫が消えたなら』
A2.授業の空き時間に勉強する
A3.前ほど本を読めていないので、もっとたくさん本を読みたい

表紙の人



物部分館の学生スタッフのお二人です。インタビューにも答えてくれました。お二人とも「もっと本を読みたい」とのこと。忙しい毎日の中でも読書タイムをとることができるといいですね。

(写真左から) S.Mさん、A.Nさん

ご協力いただいたみなさん、ありがとうございました!



臨床サポートツール DynaMed のご紹介



DynaMedは、最新の根拠に基づき医療情報を効率的に参照できる臨床サポートツールです。医学部のネットワークに接続したPCからは無料でアクセスできます。日々の診療や教育、研修にぜひお役立てください。

こんなときに・・・

- 疾病・治療法を調べる辞書として
- 治療法の比較検討資料として
- 診療における診断・治療の判断材料に
- 治療のエビデンス調査に
- エビデンスの基となる論文・抄録・書誌情報の参照に

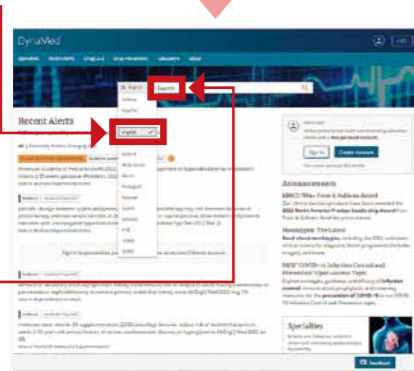
アクセス方法

- ① 医学部分館ホームページの「DynaMed」のロゴをクリック

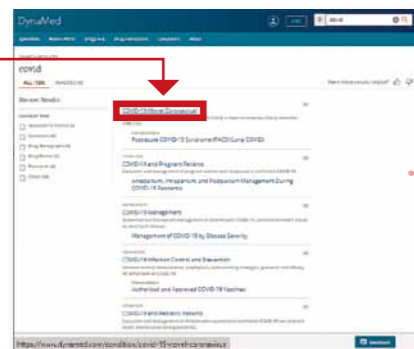


アカウント登録方法等、詳しくは「DynaMed」のロゴ右にマニュアルリンクがありますので、ご利用ください

- ② 言語を選択 (日本語もOK、検索結果は英語で表示されます)



- ③ 検索したい語を入力 (自動的に合致する候補が表示されます)



- ④ 選択した項目をクリック

特徴

診療の際、医師が遭遇する疑問に、即座に実用的な回答を得られるようデザインされた臨床医による臨床医のためのサポートツールです。

構成

- 箇条書きで簡潔にまとめられている
- クリックすると詳細表示できる
- 各種ガイドラインのフルテキストリンクあり

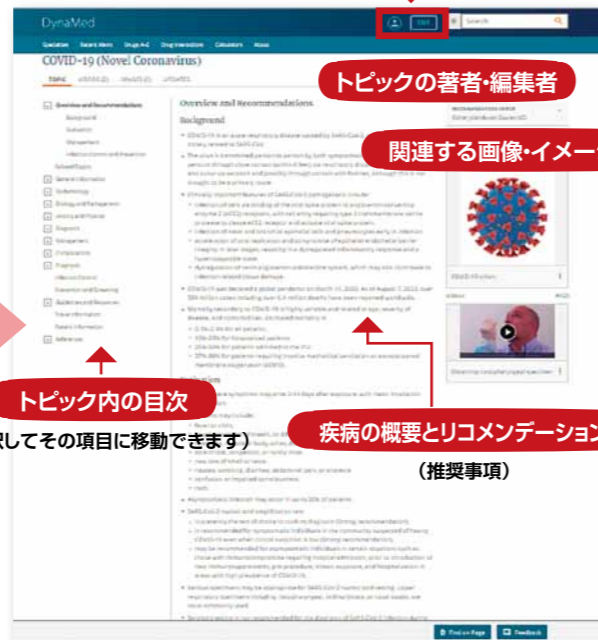
内容

- 対象は緊急医療・病院医療等を含む全診療科
- 収録データは毎日更新
- 推奨レベルの表示あり

スマホ・PCで使える
かんたん! 便利! わかりやすい!



- ⑤ 該当ページ



アカウント登録はこちらから

トピックの著者・編集者

関連する画像・イメージ等

トピック内の目次

(選択してその項目に移動できます)

疾病の概要とリコメンデーション

(推奨事項)



医学部ネットワークのairlan-okoから、一度アカウント登録すると、学外からリモートアクセス可能です

国立国会図書館デジタルコレクションの個人向けデジタル化資料送信サービスが開始されました!

国立国会図書館では収集・保存している資料の中でも絶版等で入手困難なものをデジタル化し、オンラインで公開しています。今年5月からデジタルコレクションの個人向けデジタル化資料送信サービスが開始され、デジタル化した資料を個人のスマートフォン、パソコン、タブレットなどで閲覧できるようになりました。

公開されているデジタル化資料は図書、雑誌、古典籍資料、博士論文、官報など多岐にわたります。現在、閲覧のみで印刷はできません。

個人でのご利用に際しては利用者登録をする必要がありますので、詳しくは国立国会図書館のホームページをご確認ください。

https://www.ndl.go.jp/jp/use/digital_transmission/individuals_index.html

より便利になった「デジコレ」をレポートや卒論作成にぜひ活用してください。

デジコレを印刷したい! そんなときは

デジタルコレクション資料を印刷したい場合は、図書館サービス係までお申し込みください(kg07@kochi-u.ac.jp)。職員が代行複写(※有料)を行います。複写は著作権の範囲内でのみ受け付けています。



「UNEP 地球環境情報展」開催中

中央館2階では、国連環境計画(UNEP)が主催する「UNEP 地球環境情報展」を開催中です。気候変動による自然災害の激甚化、世界中の自然や私たちの食への影響、各地の環境活動等を写真パネルで展示しています。テーマに関連する書籍を集めたコーナーもあります。世界の自然環境を取り巻く現状を理解し、誰一人取り残されないように、どのように行動していくべきかを考えるきっかけになれば幸いです。この機会にぜひご覧ください。

【期間】令和4年9月21日(水)～令和5年3月17日(金)

【場所】徳島大学・鳴門教育大学・香川大学・愛媛大学・高知大学

高知大学の展示会場は、メディアの森(学術情報基盤図書館)2階です。

パネルは四国の国立5大学を巡回しますので、展示期間ごとに異なるパネルをご覧ください。

【展示スケジュール】※変更となる可能性があります。

第1期展示期間：9月21日～11月10日

第2期展示期間：11月中旬～12月16日

第3期展示期間：12月下旬～2月2日

第4期展示期間：2月上旬～3月17日

【主催】国連環境計画(United Nations Environment Programme)

【協力】一般社団法人日本UNEP協会・公益財団法人地球友の会



UNEP(国連環境計画)は、1972年にストックホルムでの国連総会決議により設立され、環境分野における国連の中核機関として国際的なリーダーシップをとっています。



めでいもりInformation

■今年もやります 〈E-Bookリクエストキャンペーン〉

〈期間〉 10月1日(土)~10月31日(月)

電子書籍サイトKinoDen搭載の電子ブック(和書)の中から気になるものをチェック!

昨年に引き続き、今年もE-Bookリクエストキャンペーンを実施します。キャンペーン中はKinoDen搭載の電子ブックが5分間試読でき、希望があればWEB上で購入リクエストができます。キャンペーン終了後、リクエストや利用状況の結果を基に図書館で電子書籍を購入します。

学内ネットワークに接続した環境であれば、PC、タブレット、スマホでKinoDenサイトにアクセスできますので、ぜひこの機会に試読サービスを利用してリクエストをお寄せください。

KinoDen アクセスはこちらから
→ <https://kinoden.kinokuniya.co.jp/kochi-u/>



■「図書館リユースセール」開催のお知らせ

図書館で不要になった図書や雑誌を有効活用していただくためにリユースセールを行います。ご来場をお待ちしております!

【場所】メディアの森2F
【日程】11月 9日(水) 9:30~16:30
11月10日(木) 9:00~16:30
11月11日(金) 9:00~14:00

■「あうるカフェ」ぜひご利用ください

中央館1Fリフレッシュコーナーでは、カップ式自動販売機「あうるカフェ」でミル挽きコーヒー、カフェラテなどを販売中。勉強の合間の一杯で気分転換はいかがですか? ぜひご利用ください。

あうるカフェの収入は、
図書館運営に役立て
られます。



■レポート・卒論作成に役立つ! 動画「情報検索ツールとその使い方」 公開中!

レポートや卒論作成には文献収集が不可欠ですが、検索ツールの使い方や、そもそも文献をどんなツールを使って探したいのか困ったことはないですか?

図書館では、高知大学moodle shareで動画「情報検索ツールとその使い方」を公開中です。文献の種類や特徴、具体的な検索ツールの紹介と基本的な検索方法について説明していますので、日々の学習にぜひお役立てください!

- 情報検索ツールとその使い方 1 : 情報=文献とは? / 情報(文献)検索の方法<ジャパンナレッジ、高知大学OPAC>(約19分)
- 情報検索ツールとその使い方 2 : 情報(文献)検索の方法<朝日新聞クロスサーチ、CiNii Research、e-stat> / 検索語の選び方(約20分)
- 情報検索ツールとその使い方 3 : 参考文献から文献を見つける方法 / 他機関からの文献の取り寄せ方法(約15分)

高知大学moodle share

Home>学術情報基盤図書館>図書館利用案内・文献検索マニュアル



■図書館利用ガイドンスのお知らせ

図書館では、今秋も雑誌論文の検索方法や資料の入手方法等、レポート・卒論作成に役立つ図書館利用ガイドンスを予定しています。開催日時や詳しい内容は、決まり次第、図書館HP等でお知らせします。

- オンデマンドガイドンス
ゼミやグループ等でのガイドンスも受け付けています。日程や内容もご希望に合わせたガイドンスを行います。詳細はご相談ください。
- ガイドンスのお問い合わせ
中央館(内線8165) kg07@kochi-u.ac.jp
医学部分館(内線22490) kg05@kochi-u.ac.jp
物部分館(内線5117) kg06@kochi-u.ac.jp

| 編 | 集 | 後 | 記 |

先生方の読書との関わり方、学生のみなさんの読書スタイル、いかがでしたか?他の人がどんな読書との関わり方をしているか、とっても興味深かったですね。お忙しい中インタビューにお答えくださった先生方、アンケートにご協力いただいた学生のみなさん、ありがとうございました!

さて、私も築き上げた積読タワーをちょっとずつ切り崩していくぞ...と思うそばから、また新しい本を買ってしまう日々ですが、みなさんもそれぞれのスタイルで本・図書館とのお付き合いを楽しんでくださいね。



あうる No.28 (2022年10月発行)

[編集・発行]

高知大学学術情報基盤図書館

〒780-8520 高知市曙町2-5-1

Tel.088-844-8731 Fax.088-844-8161

U R L : <http://www.lib.kochi-u.ac.jp/>

E-mail : lib@kochi-u.ac.jp